

石見まちづくりセンターの新たな取組

事業名

防災 DAY キャンプ

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- 親子で防災について学ぶことで、日頃から防災について話し合うことが出来る。
- 親子で地域の自主防災組織の活動に参加したり、地域活動に興味を持ったりするきっかけとなる。
- センター職員と運営推進委員と一緒に企画運営することで、この地域の課題を共有し解決につながる新たな取組を推進する絆が深まる。

D

事業の概要

- 小学生を含む親子（家族）が対象。「防災」を学ぶことで夏休みの自由研究につながることを想定して計画。センター職員と運営推進委員4名が企画・運営を担う。また、消防本部や防災安全課との連携で学ぶ内容を打合せて実施。実際に学んだ内容は以下の通り。
 - ・パーティションの組み立て、段ボールベッドや土のうの作り方、非常持ち出し袋の自慢大会
 - ・防災クイズ、ロケットストーブ、かまどでの火起こし、土のう作り、宿泊可能な車の装備自慢
- 災害にちなんだ絵本の読み聞かせを石見まちセンで活躍中の読み聞かせサークル「クローバーの会」より4人の方に依頼した。当日は、絵本や大型紙芝居、パネルシアターなどで災害の恐ろしさなど伝えた。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

								○		
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

上記評価の理由

- 事前の打ち合わせをしっかりとしたので、内容は全てスムーズに行えた。夏休みの自由研究として防災を選んだ子どもがいた。
- 企画から事前準備、当日を迎え、充実した取り組みとなり、運営推進委員と絆が深まった。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- 学びの内容が多かった。一つ一つを深く学ぶために内容を精査したい。
- 夏休み中の企画として、日程を考慮する。
- アンケートより防災食を学びたいとの要望があり、実施に結び付けたい。

